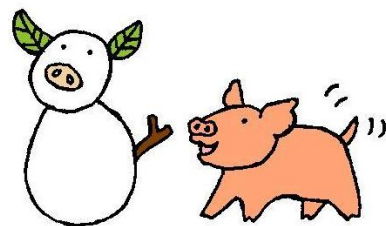


中国で口蹄疫が発生！



<発生概要>

発生日 : 2013年1月4日

発生地 : 中国 四川省 広元市 経済発展区の村
(124頭飼育)

血清型 : O型

症例数 : 30頭

対応 : 淘汰、隔離、移動制限、施設等の消毒、
ワクチン接種実施 等

このような症状がでたらすぐにご連絡ください！

① 39.0℃以上の発熱、及び泡っぽいよだれ、跛行、起立不能、泌乳量の大幅な低下又は泌乳停止があり、口腔内、口唇、鼻、乳頭又は乳房に水疱、びらん、潰瘍又は瘢痕(外傷以外)があること。

* 鹿: 39.0℃以上の発熱、かつ、その口腔内等に水疱等があること。

② 同一畜房内で、複数の家畜の口腔内等に水疱等がある

* 1畜房につき1個体を飼養している場合は、同一畜舎内

③ 同一畜房内で、半数以上の哺乳畜が当日及びその前日の2日間で死亡

* 1畜房につき哺乳畜1個体を飼養している場合は、同一畜舎内で隣接する複数の哺乳畜



飼養者の皆様へお願い

- ・農場に入る際、靴や持ち込む物の消毒を徹底しましょう。
- ・外部から人や車をなるべく農場に入れないようにしましょう。
- ・畜産関係車をはじめ農場に立ち寄る車(タイヤ等)は必ず消毒しましょう。
- ・これから**春節を迎え、人・物の移動が盛んになることが予想されます**。口蹄疫発生国に滞在していた人、発生国からの輸入物等、ウイルスを伝播させる可能性があるものは農場に近づけないようにしましょう。
- ・**従業員の方も含めて、口蹄疫発生国への渡航は、できる限り控えましょう**。渡航する場合は畜産関連施設に立ち入らないようにしましょう。
- ・発生状況は以下を参考にしてください。
【農水省ホームページ】
高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2011年以降)
http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/pdf/121210_ai_wd.pdf
アジアにおける高病原性及び低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2012年)
http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/pdf/121210_asia_ai.pdf
- ・早期発見のため、毎日家畜を観察して、おかしい時には、すぐに獣医師や家畜保健衛生所に連絡しましょう。

★飼養衛生管理基準遵守の徹底をお願いします！

山梨県西部家畜保健衛生所
TEL:0551-22-0771(平日)
090-5564-1018(土日・休日・夜間)
090-5568-0817(土日・休日・夜間)

